



開通した大手前通り（白銀町～本町・昭和30年・提供＝姫路市）

監修＝小栗栖健治（播磨学研究所所長）

定価 12,100円（税込）

昭和
100
年
記念
出版

写真アルバム

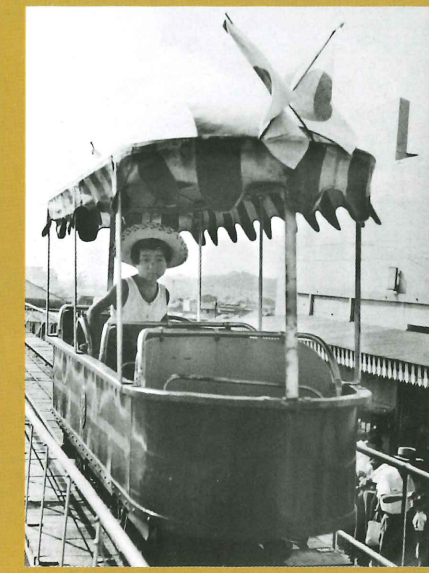
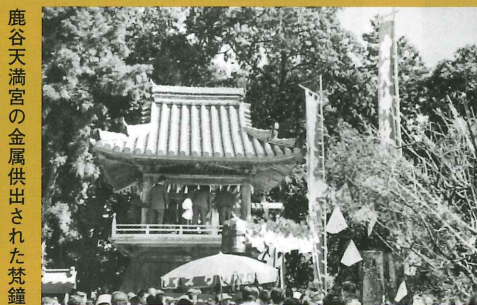
姫路市の100年

ふるさとの100年がページを開くたびによみがえる

大塩塩田（大塩町・昭和33年・提供＝呉田武司氏）



鹿谷天満宮の金属供出された梵鐘が再建（夢前町前之庄・昭和51年頃・提供＝北嘉巨氏）



ヤマトヤシキ姫路店の屋上遊園地（二階町・昭和29年・提供＝八木博美氏）



「船津瓦」の瓦職人（船津町・昭和30年頃・提供＝大沢公民館・銀の馬車道）

中寺村の野田婦人会による真室川音頭（香寺町中寺・昭和20年代・提供＝柿本勲氏）

本書の主な内容

- 矢倉を下る松原の屋台
- 大塩町の田園風景
- 大塩町制25周年記念を祝う大塩青年団たち
- 船津町の御立隣保の人びと
- 御立青年団の夏祭り芝居
- 大沢の秋祭り
- 富士製鐵広畑製鉄所
- 香寺町のお稚児宿に集まるお稚児さんたち
- 溝口駅の開設60周年記念祝い
- 溝口ホームタウン造成
- 中寺小学校の木造校舎
- 昭和40年頃の前之庄の風景
- 鹿谷天満宮の秋祭り
- 光瑞寺のお稚児さん
- 夢前町役場前にて
- 夢前町両月の風景
- 中島観音堂で盆踊り
- 安富町を行く野辺送り
- 安富町消防団皆河分団の出初式
- 安富中学校の旧校舎
- 安志姫神社の春祭り
- 家島町制20周年の祝賀会
- 昭和30年代の家島天神祭
- 長国寺へ梵鐘を奉納
- 真浦の城山から見た家島風景
- 家島観音崎の家島砕石工場
- 踏車で田んぼに水入れ
- マツダのB360トラック
- タットサンとともに
- 嫁入り道具を運ぶ
- 英賀保小学校が広末橋近くで水泳授業
- 高浜小学校の木造校舎
- 香島小学校の木造校舎
- フタバ幼稚園
- 粟生小学校の運動会
- 家島の宮幼稚園
- 家島の真浦幼稚園
- 姫路駅に停車する蒸気機関車
- 姫路機関区
- 英賀保駅
- 砥姫駅と蒸気機関車
- 特急つすしお
- 山陽電鉄平松駅前
- 市川鉄橋を渡る蒸気機関車
- 東京オリンピックの聖火リレー
- 皇太子殿下が姫路行啓
- 手柄山姫路球場でプロ野球春季キャンプ
- 姫路シロヒア博

※これは収録写真のほんの一部です。写真等は変更の場合もあります。

A4判・上製本 約280頁（カラー頁あり） 収録写真約600点 定価 12,100円（税込）

兵庫県教科書株式会社 株式会社 樹林舎出版販売 樹林舎
〒651-2135 兵庫県神戸市西区王塚台1-55-1 〒940-2038 新潟県長岡市関原東町100 〒468-0052 名古屋市天白区井口1-1504-102
TEL 078-928-0581 FAX 078-927-2496 TEL 0258-86-6140 TEL 052-801-3144 / FAX 052-801-3148



ホームページ

申込書

【樹林舎刊】ISBN 978-4-911023-19-8

お名前 _____

〒 _____

ご住所 _____

電話 _____

お申し込みはぜひ当店へ

※ご住所、お名前など個人情報は、お申し込みの書籍をお届けするため、発行元・書店で利用させていただきます。その他の目的では一切利用いたしません。ご了解の上ご記入ください。

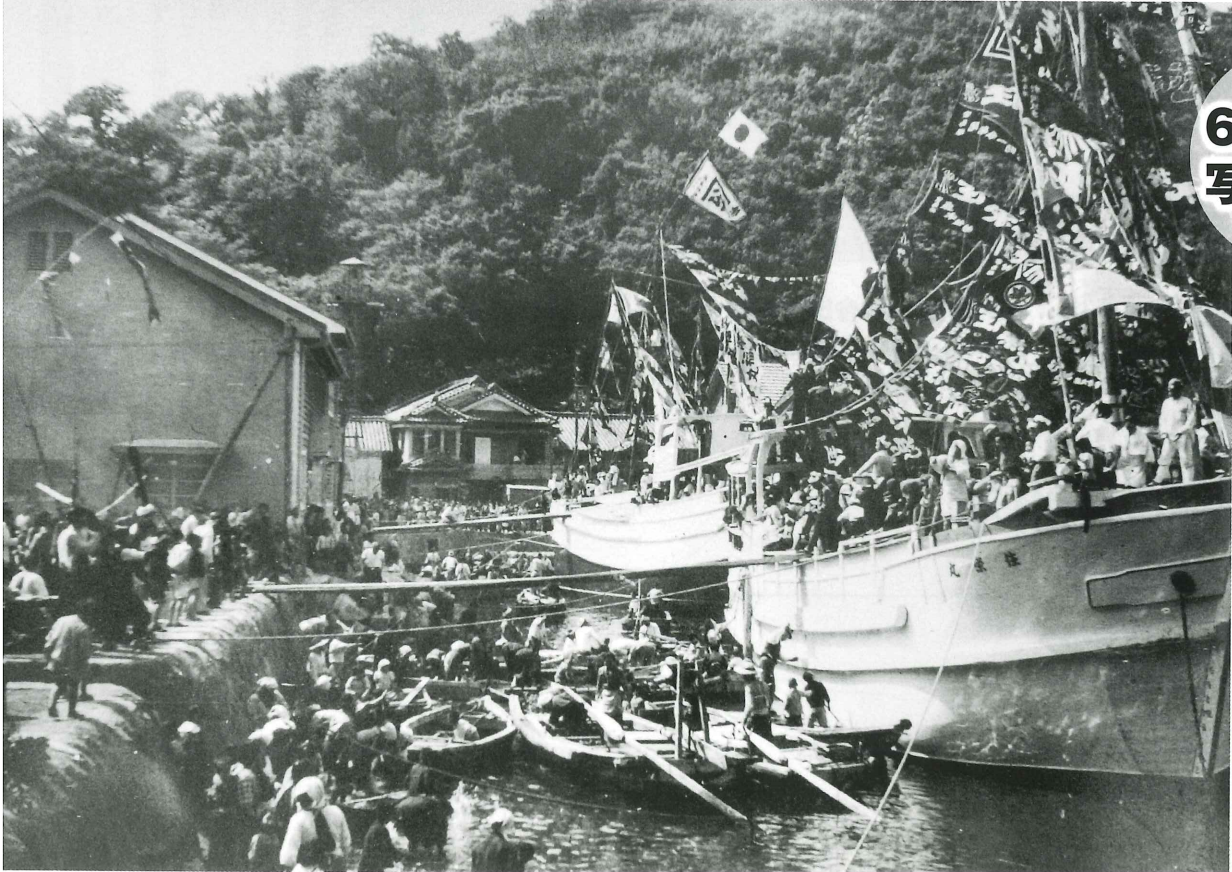
2025年12月中旬刊行予定
ご予約受付中!!
1500部限定出版
満数になり次第、締め切らせていただきます



富栖蚕絮託児所 10月の農繁期になると、善照寺の住職と妻がお寺を託児所として開放して農家の子どもたちを預かっていた。昭和初頭から始まったこの託児所のお陰で、近隣の親たちはずいぶん助かった。農繁期には小中学校も2〜3日休校になり、年長の子ども達が年下たちの面倒を見ていた。〈安富町皆河・昭和初頭・提供＝大前善信氏〉

懐かしい写真で振り返る ふるさとの一世紀！

運搬船の進水式 この年、家島の採石などを運ぶ運搬船・住栄丸と栄福丸の進水式が行われた。進水式では船を旗で飾り立て、船上から紅白の餅を振る舞い投げる。縁起物の餅を求めて港は人で溢れかえり、岸まで届かなかった餅を拾うために海上には小舟が所狭しと浮かんでいる。この時代はまだ木造船だった。〈姫路市家島町・昭和31年頃・提供＝奥村薫氏〉



平松の西汐入川 平松と長松の境にある川で、木の水門が写っている。水門の向こうには長松区の洗い場があった。左にあるパーマの看板が目立つのはサニー美容室。〈大津区・昭和53年・提供＝平野好信氏〉



胸が熱くなる 思い出の情景がよみがえる！



東二階町商店街 おみぞ筋から東部、城異通り商店街までの区間を「東二階町」と呼ぶ。昭和28年は20年に1度開催される、射楯兵主神社の三ツ山大祭の年で、商店街も盛大に彩られている。〈二階町・昭和28年・提供＝姫路市〉

わかりやすい解説や 身近な話題が満載！

手柄山の水族館から見たモノレール 姫路大博覧会に合わせて昭和41年に開通した。アメリカのロッキード社の開発で、姫路駅から手柄山駅までの約一・八キロを結び、開業年には約45万人が利用した。しかし利用者の低迷やロッキード社のモノレール事業撤退などにより、わずか8年後の昭和49年4月に休止、その後廃止された。〈西延末・昭和49年・提供＝大野英明氏〉



ご家族、ご近所、ご友人、 みなさまで楽しめる！

松原八幡神社の秋祭り 「灘のけんか祭り」とも呼ばれる播磨を代表する屋台祭礼のひとつ。勇壮な屋台練りが繰り広げられ、氣勢を上げるシデ棒に合わせて屋台が躍動する。〈白浜町・昭和34年・提供＝呉田武司氏〉

600点もの貴重な 写真を厳選収録！



飾磨港駅 明治28年に飾磨駅として開業、大正4年に飾磨港駅となる。同駅は主に港からの貨物輸送のために開設され、大正期から高度経済成長期の物流を支えていた。しかしモータリゼーションの波に押され、昭和61年に廃止された。〈飾磨区玉地・昭和56年・提供＝呉田武司氏〉

